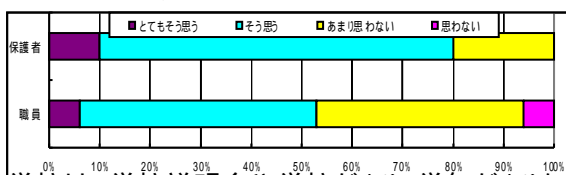
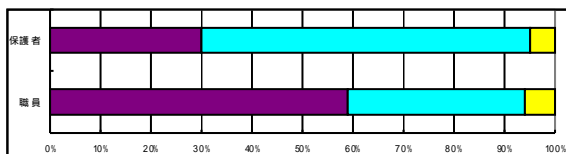


学校教育活動の改善に関するアンケートの結果

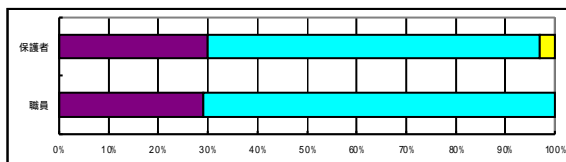
1. 主体的な学び・豊かな感性と授業の充実について
子どもたちは、学校や学級の目標に向かって育っている。



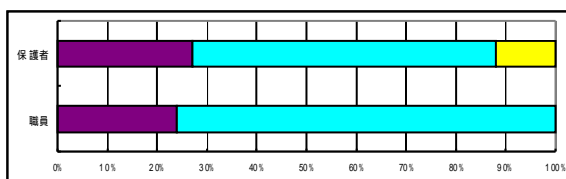
学校は、学校説明会や学校たより、学年たよりなどを通して、本校の教育を保護者に理解してもらうための努力をしている。



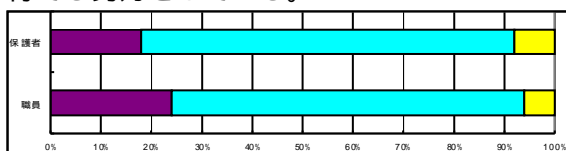
少人数授業や教科担任制、学年合同授業などを取り入れ、子どもたちの学びをきめ細かく支援している。



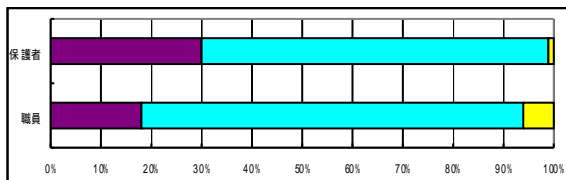
下小漢字検定や計算検定に取組、基礎学力の充実や実践力向上を目指している。



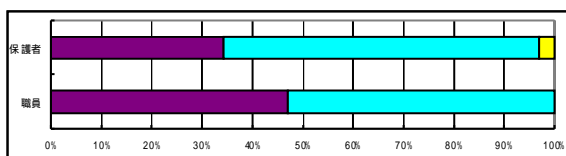
芸術鑑賞会を通して、子どもたちの豊かな感性を育てる努力をしている。



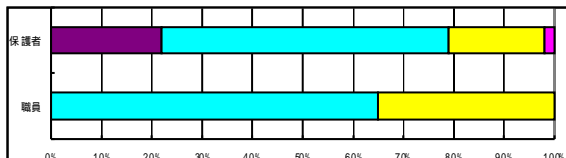
地域の方から学ぶ活動を取り入れている。



外部講師による出前授業を積極的に取り入れ、楽しく学習できるようにしている。



子どもたちはスマイルキッズの活動を楽しみにしている。



1 主体的な学び・豊かな感性と授業の充実について

～ の評価項目に対して、保護者・地域からは「概ね満足している」との回答を得ています。学校の取組に対して評価してくださっていることに感謝いたします。

特に の学校便りやホームページなどは、子どもたちの日々の様子を楽しく・読みやすいように工夫してお伝えしておりますので、高く評価をして頂けましたことをうれしく思います。

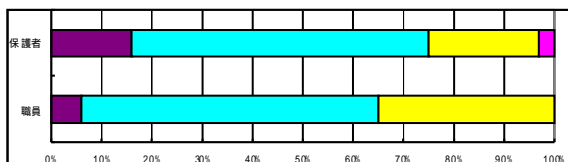
また の3～5年の少人数授業や6年の教科担任制、音楽・体育などの学年合同授業、 の下小漢字検定や計算検定は、今年度の目玉となる取組ですから、これに対して高い評価を頂いたことに勇気づけられます。

につきましては、今年度、学校職員以外の多くの方々のご支援を頂き豊かな実践が出来ました。

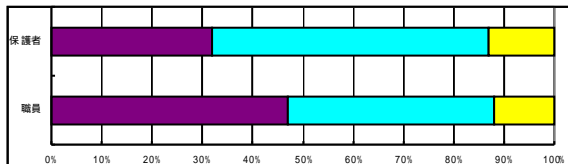
1 につきまして、保護者・地域の方々からは次のようなご意見・ご感想をいただいております。

- ・ 漢検・数検の取り入れは良いことだと思いますが、休み時間がつぶれないように何か方法はないでしょうか。
- ・ 学年、クラスによって違いがあると思います。6年生のクラスでは下小漢字検定や計算検定などの取り組みや生活面のことがよくできていると感じています。
- ・ 芸術鑑賞会はもっとあっても良いと思います。(予算的な問題もあるが)
- ・ 学校全体の意識は高いと思いますが、クラス、担任によってバラつきがあると思います。
- ・ 畑仕事をぜひ体験させてほしい。皆で作って育てて食べる大切さを学んでほしいと思います。
- ・ 時間にルーズなところがあり、時間のメリハリができない。もう少し時間を意識して生活してほしいと思いました。
- ・ 授業やクラスの活動を乱し、周りがまきこまれたり、浮き足立ったりした場合、もう少し厳しい態度で接してもよいのではないかと、一生懸命頑張っていたり、学校を楽しみにしたりしている子がとてもかわいそうだと思います。

異学年交流活動を通して、子どもたちはやさしさや思いやりの心が育ってきていると感じる。

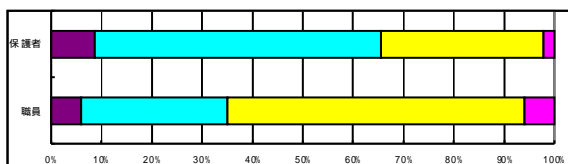


子どもたちは英語活動を楽しみにしている。

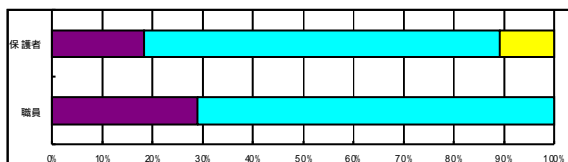


2. 生活について

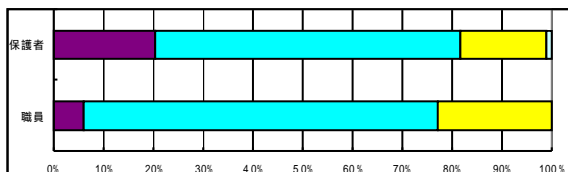
子どもたちは集団生活に必要なきまりや約束を守って生活している。



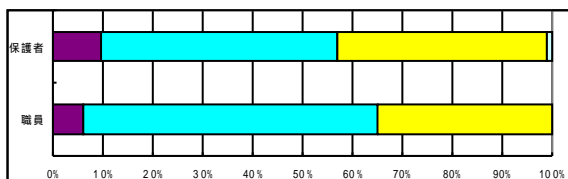
学校は保護者の意見に耳を傾けようとしている。



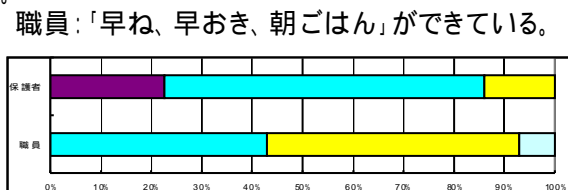
保護者：「あいさつ」ができる子を意識して育てている。
職員：「あいさつ」ができる子を意識して指導している。



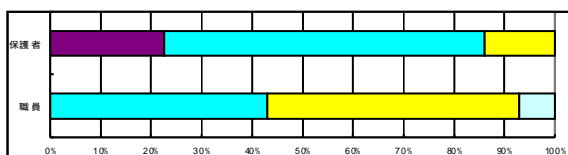
保護者：「言葉遣い」を意識して育てている。
職員：「言葉遣い」を意識して指導している。



保護者：「早ね、早おき、朝ごはん」を意識して生活している。
職員：「早ね、早おき、朝ごはん」ができています。



保護者：「がまんできる子」を意識して育てている。
職員：「がまんできる子」を意識して指導している。



・性(いのち)教育を小学生からしっかりと、優しく愛を持ってやってほしいと思います。



原動物病院の原先生が来てくださり、飼育動物の世話の仕方について教えてくださいました。

2. 生活について

上記1の調査項目に比べ、生活の調査では「あまり思わない・思わない」の数値が高くなっています。特に「集団生活に必要なきまりや約束を守る」については教職員の捉えは厳しいものとなっています。この点はもっともっと力を入れていかねばならないと考えています。

- ・「学校は保護者の意見に耳を傾けようとしている」について、保護者の方が「あまり思わない」と思っていることを真摯に受け止め、改善を図っていきたく思います。
- ・「あいさつ・言葉遣い」の「早ね、早おき、朝ごはん」につきましては、ご家庭の協力無しには成果が上がりません。引き続きご協力をお願いいたします。
- ・「がまんできる子」につきまして職員は自信をもって「出来ています」と言い切れる感想を持っていません。「がまんできる」ことは大切なことです。学校ではどのような場面で育成していくことができるか考えていきたいと思っています。

2につきまして、保護者・地域の方々からは次のようなご意見・ご感想をいただいております。

- ・PTAの活動が父兄にとって負担になりすぎている。仕事を持っている母も多いのに役員になると仕事や子どもにかなりの迷惑をかけることになる。子どものためのPTAと言い、学校側は「お願いします」としか言わないが、学校行事で先生方ができることはやってください。

保護者の皆様には、今後ますますご支援をいただかなければならないことが多くなると思いますが、ご指摘を受け止め、学校全体を振り返ってみます。

ご協力ありがとうございました。